

競技会の進め方 詳細は作成中です。

○競技時間を短縮する。(普段の競技会の概念を持たないで進める)

- ・タイムテーブルは大きく変更します。
- ・全体打合せ 8 : 0 0 (進め方について全体で確認)
- ・スタート練習なし→後方にスタプロを用意する
- ・現地招集→現地で出発係がチェックする。いなければ棄権、失格とする。
- ・通告→ワイヤレスマイクでスタート地点で行う。連絡の時間短縮
- ・フィールド→すべて 3 試技でおこなう。
- ・ハードル準備→各校で協力して並べる
(朝にフィールド内に出しておく。競技の前に 1 台目：中京 2 台目：至学館・・・と決めておいて並べる) 最後チェックを行う (本来は技術総務)
- ・大型映像あり→組や記録の確認用
- ・フィールド入力 手書き→室内で手打ち (計測方法については審判で相談)
- ・オーダー用紙→時間までに記録室前のバラプロに走順の数字を記入→記録室で NANS に入力
- ・特別表彰、国体選手紹介は実施
- ・フィールドは公式練習時間より開始時間を最優先。
- ・弁当なし
- ・交通費、食事代支給